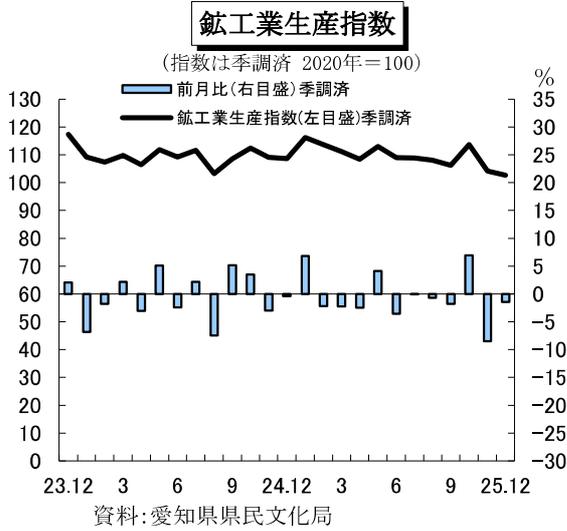


あいち経済の動き（月報）

（2025年12月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比1.4%の低下



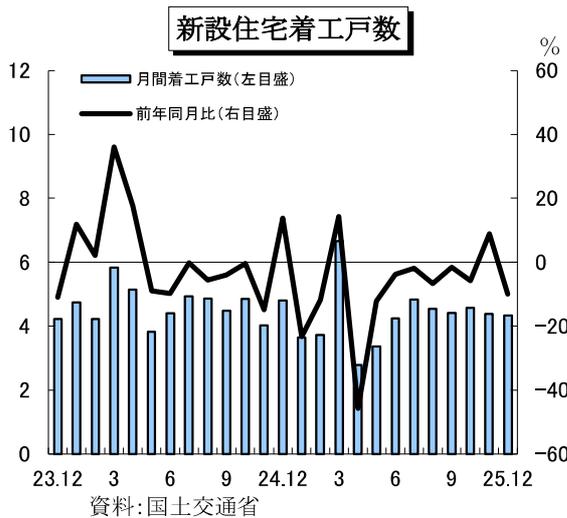
2025年10月	11月	12月
↗	↘	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比で、輸送機械工業が7.6%低下するなど、全体で1.4%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比で、輸送機械工業が6.7%低下するなど、全体では3.2%の低下となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比9.9%の減少



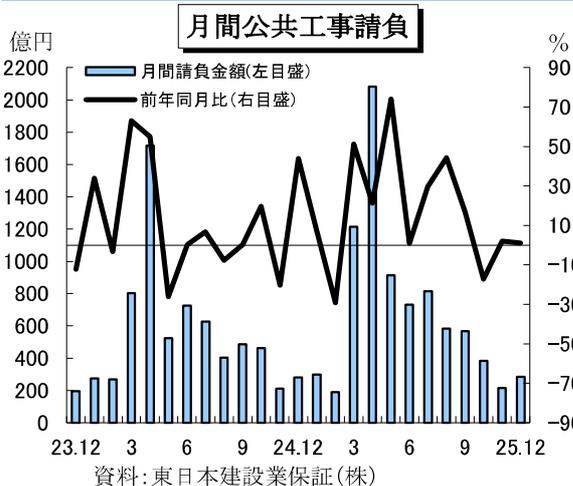
2025年10月	11月	12月
↘	↗	↘

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、9.9%減となり、2か月ぶりに減少となりました。

主な内訳は、分譲住宅が13.7%、貸家が13.6%減少し、持家が5.9%増加となっています。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比1.1%の増加



2025年10月	11月	12月
↘	→	→

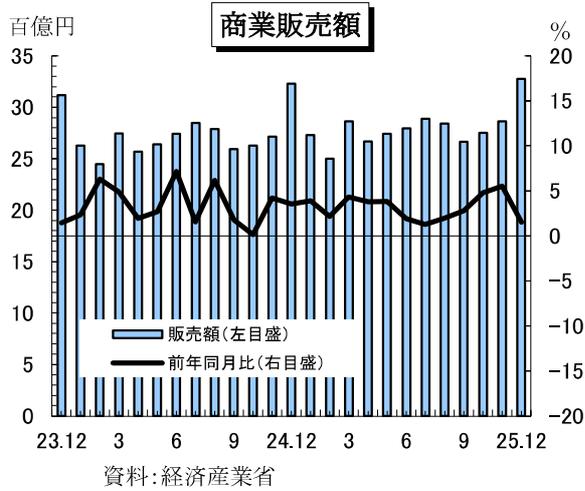
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、1.1%増となり、2か月連続で増加となりました。

月間請負件数の前年同月比は、1.9%減となり、3か月連続で減少となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：商業販売額は、前年同月比1.5%の増加



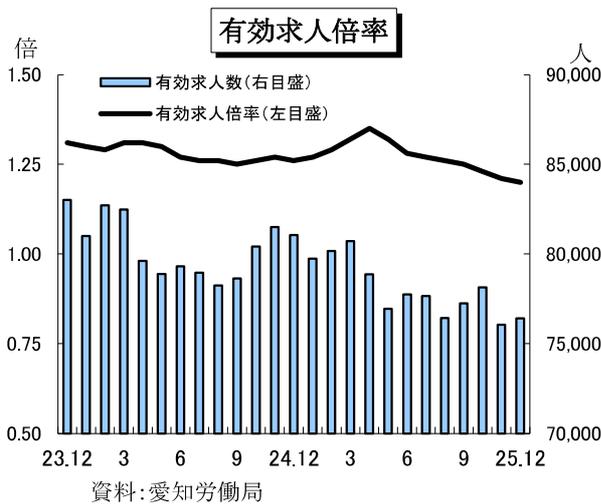
2025年10月	11月	12月
→	↗	→

主な指標の動き

スーパーなどの商業販売額の前年同月比は、1.5%増となり、52か月連続で増加となりました。

主な内訳として、スーパー販売額の前年同月比は、飲食料品が3.8%増となるなど、全体では1.0%の増加となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.20倍



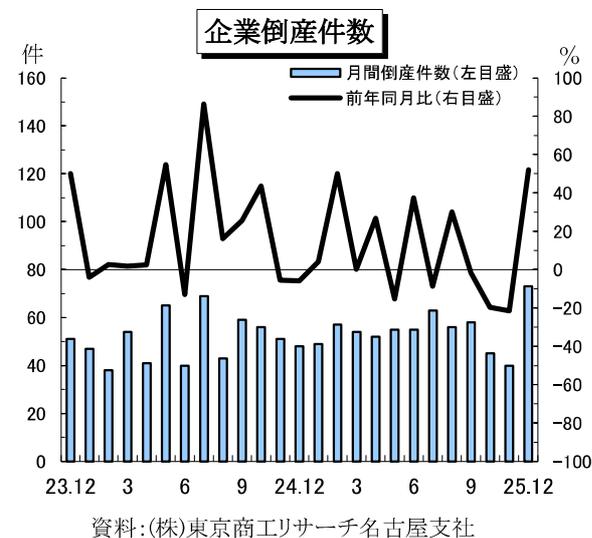
2025年10月	11月	12月
→	→	→

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.20倍と8か月連続で低下となりました。

有効求人数の前年同月比は、5.7%減となり、19か月連続で減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比52.1%の増加



2025年10月	11月	12月
↗	↗	↘

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は73件となりました。また、前年同月比では52.1%増となり、4か月ぶりに増加となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順に、サービス業他が24件、建設業が15件、製造業が10件、小売業が8件、卸売業が7件、情報通信業が5件、農・林・漁・鉱業が3件、運輸業が1件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比7.1%の増加



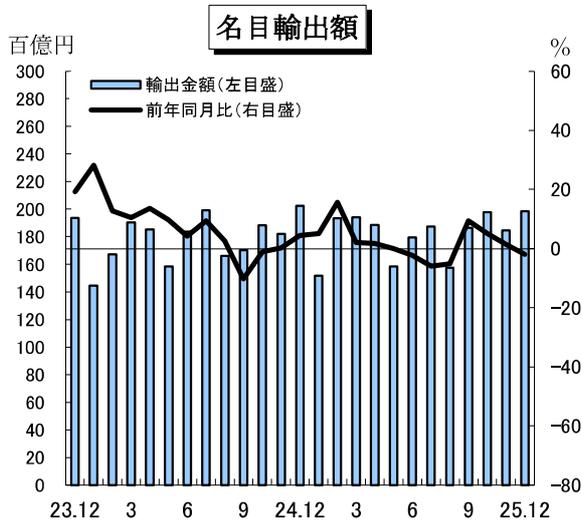
2025年10月	11月	12月
↗	↗	↗

主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、7.1%増となり、43か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比2.0%の減少



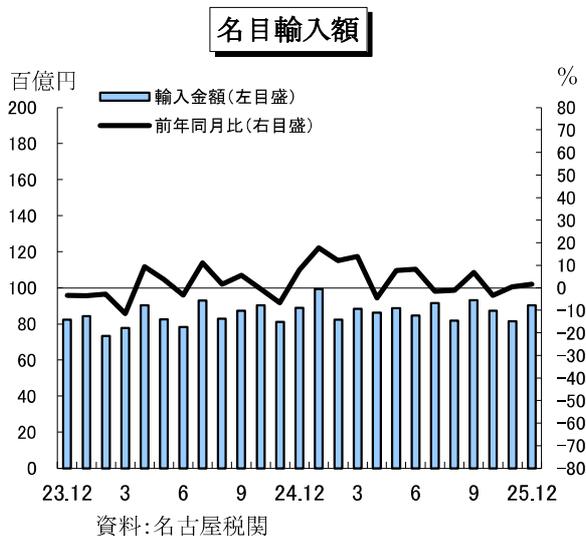
2025年10月	11月	12月
↗	→	↘

主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、2.0%減となり、4か月ぶりに減少となりました。

内訳を地域別にみると、北米向けの輸出が5.4%、EU向けが2.3%減少し、アジア向けが4.5%の増加となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比1.5%の増加



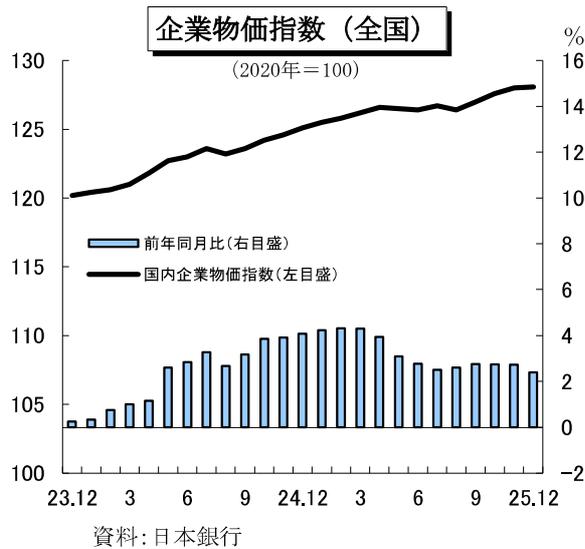
2025年10月	11月	12月
↘	→	→

主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、1.5%増となり、2か月連続で増加となりました。

内訳を地域別にみると、北米からの輸入が25.6%、アジアからは7.0%、EUからは1.2%の増加となりました。

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比2.4%の上昇



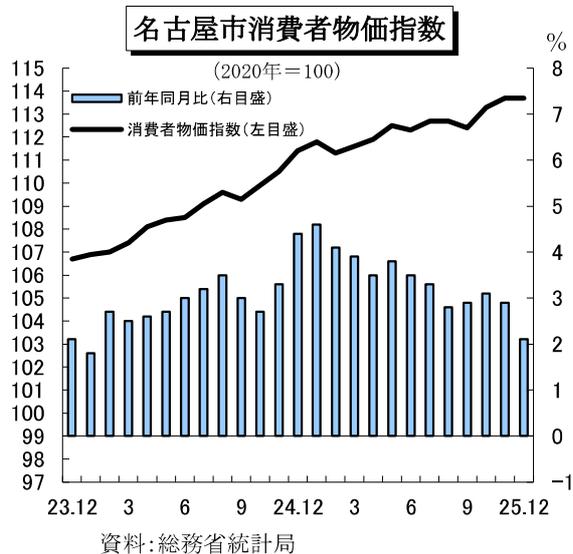
2025年10月	11月	12月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数(2020年=100)は、128.1となりました。また、前年同月比は2.4%上昇し、58か月連続の上昇となりました。

前月比では0.1%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比2.1%の上昇



2025年10月	11月	12月
↗	↗	↗

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数(総合)(2020年=100)は、113.7となりました。また、前年同月比は2.1%上昇し、50か月連続の上昇となりました。

前月比では同水準となりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2025年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産	⇒	⇒	⇒	↗	↘	⇒
投資(住宅建設)	⇒	⇒	⇒	↘	↗	↘
投資(公共工事)	↗	→	↗	↘	⇒	⇒
個人消費	→	→	→	→	↗	→
雇用	→	→	→	→	→	→
企業(倒産)	↗	↘	↗	↗	↗	↘
企業(金融)	↗	↗	→	↗	↗	↗
貿易(輸出)	↘	↘	↗	↗	→	↘
貿易(輸入)	⇒	↘	⇒	↘	⇒	⇒
物価(企業物価)	↗	→	↗	↗	↗	↗
物価(消費者物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
↗	5	2	5	6	6	3
→	2	4	3	2	2	2
↘	1	3	0	3	1	3
⇒	3	2	3	0	2	3

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準	
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外	
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
個人消費		経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／商業販売額合計	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1 超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1 ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1 未滿かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1 ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外	
企業	倒産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同対3か月前比プラス →：上記以外	
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
	輸入	同上／名目輸入額	同上	
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外	
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上	
区分		上昇 	横ばい 	下降 

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。